

クールアース・デーに向けた政府の取組

平成21年7月1日現在

【全府省的な取組】

◇ 率先したクールアース・デーへの参加

クールアース・デー（7月7日）について職員に周知するとともに、定時退庁日及びノーカー・デーに設定。業務上支障のない限り、20時までには業務を終了し、執務室の照明を消灯。不要不急の公用車の使用自粛を徹底。

◇ 所管施設のライトダウン

所管施設が通常ライトアップされている場合、支障のない限り、20時から22時までの間、ライトダウン。

◇ 所管団体への周知、取組依頼

所管団体に対して、クールアース・デーに関する情報を提供するとともに、セタライトダウンや1人1日1kgCO₂削減運動への参加、クールビズやノーマイカーの実施等の取組を依頼。

【各府省における取組】

<7月7日に実施>

◇ セタライトダウン

・6月20日～7月7日の期間、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施。特に7月7日（クールアース・デー）は、20時～22時の間、全国のライトアップ施設や各家庭のあかりを一斉に消灯して頂く「セタライトダウン」を広く呼びかけ。

具体的に、ライトダウンのホームページの創設、各省・都道府県・政令指定都市・主要業界団体等への協力依頼の発出、ポスター・ステッカーの配布、様々なイベント等の機会での参加呼びかけ等を実施。（環境省）

・レインボーブリッジ、明石海峡大橋等の照明のライトダウンを実施（国土交通省）

◇ 「セタライトダウン」を全国の学校に周知（文部科学省）

クールアース・デー「セタライトダウン」について、全国の学校（国公立の幼・小・中・高・大・専修・各種学校で約6万校）に、各家庭や職場における実施促進のための周知を行い、子どもたちが地球環境の保護について広く学ぶきっかけを与える。

◇ クールアース・デー記念イベント（環境省）

・セタライトダウン in 北九州

環境モデル都市である北九州市においてクールアース・デー記念イベントを実施。門司港レトロ地区でのライトダウンイベントを行う。

・クールアース・デー記念シンポジウム「低炭素社会に生き残る経営 ―今から始めるエコアクション―」

クールアース・デーを記念し、中堅・中小企業の事業者等を対象に、環境と経営の両立をテーマとした基調講演やパネルディスカッション等を通じて、低炭素社会づくりを考える。

＜7月7日前後の期間に実施＞

◇ 百貨店・店舗など公共空間での COOL BIZ(クールビズ)の本格実施及び MY COOL BIZ(マイ・クールビズ)のPR 展開（6月1日～9月30日、環境省）

日本百貨店協会加盟店舗や商業施設・店舗などでの本格実施。新聞広告等の実施。

◇ 使用済携帯電話回収促進キャンペーン（6月3日～7月7日、総務省・経済産業省・環境省）

地方公共団体、通信事業者及び携帯電話メーカー等と連携して、様々な取組・行事を通じて、使用済携帯電話の回収を国民へ呼びかけ。

また、7月1日～7日を目処に、経済産業省内に使用済携帯電話の解体モデル展示等を実施。

◇ 「スクール・ニューディール」推進会議の開催（6月16日、文部科学省、経済産業省、環境省）

地方公共団体における太陽光発電の導入をはじめとした積極的な事業化を推進するため、文部科学大臣、環境大臣、経済産業大臣から、各地方自治体の関係者に対して、施策の必要性・重要性及び財政支援の内容を説明するとともに、「スクール・ニューディール」の推進について要請。

◇ クールアース・デー記念展示「そんな僕らの未来基準」（6月16日～7月18日、環境省）

ストップおんだん館（東京・神谷町）で、世の中にあふれている地球温暖化対策の情報の中から、生活の中で取り組める対策を考えてもらうことを目的に開催。

◇ 「スクール・ニューディール」 & 「地域新エネ」コンベンション（6月17日～25日、経済産業省、文部科学省）

学校における太陽光発電・省エネ設備を含めたエコ改修等を実施する「スクール・ニューディール」と地方公共団体による新エネルギーの導入を促進する「地域新エネ」を一体的に推進するため、各地方公共団体の代表、教育委員会等の協力を得て、各地方でコンベンションを開催。

◇ 第3回美しい森林づくり全国推進会議（6月22日、農林水産省）

「美しい森林づくり推進国民運動」を進める民間組織として平成19年6月に設立された「美しい森林づくり全国推進会議」の3回目の全体会で、構成団体等がこれまでの活動について報告。

◇ 「新エネルギー世界展示会」の開催（6月24日～26日、経済産業省）

新エネルギー・再生可能エネルギー全分野をはじめ、エネルギーと環境に関わる主要企業・団体が出展。地球環境保全に貢献する最新の製品・技術・サービス・周辺機器・情報を発信するとともに、クールアース・デーや、エコカーの買換促進、エコポイントを活用した省エネ家電の買換促進などについて周知。

◇ Jリーグ公式戦「アルビレックス新潟 対 名古屋グランパス戦」における地球温暖化防止アクション等の呼びかけについて～クールアース・デー記念 みんなで、エコチャレンジ～（6月28日、環境省）

アルビレックス新潟との連携により、1人1日1kgのCO₂削減を目指す「私のチャレンジ宣言」の参加呼びかけ、使用済み携帯電話の回収等を行う。

◇ 生きものやバイオマスがいっぱい！日本の農林水産業（農林水産省「消費者の部屋」特別展示）（6月29日～7月3日、農林水産省）

バイオ燃料の活用や、省CO₂効果が表示された商品の展示等、地球温暖化防止に貢献する農林水産分野の取組を一般に広く紹介。併せて、クールアース・デーのポスターを提示し、CO₂削減/ライトダウンキャンペーンを紹介。

◇ J2リーグ公式戦「横浜FC 対 湘南ベルマーレ戦」における「クールアース・デー Match」（7月5日、環境省）

横浜FCとの連携により、七夕の日のクールアース・デーにちなみ、“短冊”に地球環境に関する願いや自分が出来る環境活動などを記載して持参した小学生以下の子どもは入場無料とするほか、1人1日1kgのCO₂削減を目指す「私のチャレンジ宣言」の募集等をおこなう。

◇ 食と農からのクールアース（クールアース・デーを中心とした地産地消の関係団体等への取組依頼）（農林水産省）

クールアース・デーを契機として地産地消の一層の推進を図るため、学校給食、社員食堂、小売店、直売所などにおいて、地産地消を考え、行動するよう関係団体等に依頼。各地での地産地消の取組をとりまとめ、農林水産省HPで公表。

<広報関係>

- ◇ クールアース・デー、セタライトダウン、低炭素社会への取組などを、新聞広告やホームページで掲載、新宿御苑インフォメーションセンター等の施設で掲示・呼びかけ（環境省）
- ◇ クールアース・デーに関する政府広報の実施（内閣府）
- ◇ クールアース・デーの取組を在外公館を通して諸外国に広報（外務省）
- ◇ クールアース・デーの広報（経済産業省）
地域において「国民運動」を実施する団体等を通じて、ホームページ等でクールアース・デーのPR活動を実施。

※ 関係団体等の協力を得て、実施するものを含む